

氏名(本籍地)	嵐 雅子 (兵庫県)
学位の種類	博士(学術)
学位記番号	博甲第57号
学位授与年月日	平成23年3月16日
学位授与の要件	昭和女子大学学位規則第5条第1項該当
論文題目	日本人におけるベジタリアンダイエットに関する 栄養学的研究

論文審査委員	(主査)	昭和女子大学教授	渡辺 満利子
	(副査)	昭和女子大学特任教授	木村 修一
		昭和女子大学教授	戸谷 誠之
		愛知みずほ大学大学院教授	土田 満

## 論文審査結果の要旨

日本人ベジタリアンダイエットの栄養学的評価は極めて少ない。特に成人期及び成長期にある中高生、成人期移行期にある大学生女子におけるベジタリアンダイエット摂取がエネルギー等栄養摂取状況や体格・健康状態に如何なる特性を齎しているかをEBNの観点から検証した研究は殆ど見当たらない。

本論文において、日本人ベジタリアンダイエットの栄養摂取状況は一般食に比較し、穀類・大豆・野菜類の摂取量は有意に多く、肉・魚摂取量は有意に少ないことや、食物繊維、マグネシウム、鉄摂取量は食事摂取基準を下回っていたものの一般食に比較し高値を示し、ベジタリアンダイエットを摂取する中高生の体格、大学生女子の骨密度を良好に維持し、成人男性におけるBMI・腹囲・ $\gamma$ -GTP・TGは基準値範囲内にあり、エネルギー摂取過剰による肥満のリスク人口は有意に低率であることが判明した。本論文の成果は、日本におけるベジタリアンダイエットが、まさにわが国の伝統的食習慣を基盤に構築された日本型食事の利点を想起させる特性を明らかにし、肥満のリスク人口を低減できる可能性を実証し、わが国のメタボリックシンドロームや糖尿病の著しい増加に対し、その発症リスク因子の低減に活用できる有用な新しい知見として評価できる。しかし、いくつかの課題も残した。本研究は、限られた対象群、対象数での断面調査に基づく研究結果であり、汎用性には限界がある。食事摂取に影響を及ぼす要因は多様であり、体格、健康状態、食環境といった交絡因子の影響を考慮に入れ、その科学的根拠を明らかにすることが今後の課題である。また、中高生・大学生女子・成人におけるベジタリアンダイエットの栄養摂取量は提示されが、栄養供給量・食品構成基準の提示、摂取期間の検証、栄養疫学の観点に立脚した引用文献の考察が望まれる。

本論文は、調査対象者に対する倫理的配慮を遵守し、分析に用いられた統計的手法も正当

であり、かつ適正なものであって、研究者としての資質・能力を備えており、今後の研究成果も期待できる。研究目的、研究仮説に対する妥当な結果は、博士論文に十分値するものと審査員一同が判断した。